



～映像・スポーツのまち彦根へ！～

これまでから彦根市では数多くの映画撮影が行われてきており、市としてもフィルムコミッション室を設置して積極的にその支援をしてまいりました(ひこねしちよ一CHでは映画ロケ地巡りを配信中)。市内でロケがされた映画は実に75作品、中には撮影の6～7割が市内で行われた作品(「バッドランズ」、『隣人X』など)もありますし、この4月公開の鈴木亮平さん、有村架純さんご出演の「花まんま」では作品の舞台そのものが彦根となっています。

そして先月、「映像・映画のまち彦根」を目指し彦根映画祭実行委員会が設立されました。この映画祭では映画の上映以外にも最新の映像技術や機器の紹介も企画しており、映像・映画の次世代育成と関連産業の誘致を主眼としております。また市税に頼らず民間投資やふるさと納税を財源としており、民間活用による地域の経済・文化の発展を目指します。

さて、今年はいよいよ彦根が主会場となる国スポ・障スポの年ですが、これを50年に1度のイベントとするのではなく「スポーツのまち彦根」のスタートにしなければ、これまで投じられた市税が無駄に

なります。この設備投資を最大限活用する手段が「Jリーグ」です。

現在、Jリーグのない県は滋賀を含めて5県しかありません。本市では2年前からJリーグ誘致推進室を立ち上げ、レイラック滋賀のホームタウンとなってその実現に向けて着実に体制整備に努めてまいりました。今年こそレイラック滋賀にJリーグに昇格してもらい、国スポ・障スポ後の「スポーツのまち彦根」の旗頭になっていただきたいと考えております。来る3月9日はいよいよ平和堂 HATO スタジアムでの開幕戦、相手はキングカズこと三浦知良選手率いるアトレチコ鈴鹿、Jリーグ並みの観客数で彦根を盛り上げていきましょう！



和田 裕行

彦根城は、知れば知るほど、オモシロイ。

未来に残そう みんなのお城 -vol.24-

戦いの場から政治の場へ -お城の変化-

彦根城を世界遺産に



問 彦根城世界遺産登録推進室
☎ 26-5833 FAX 26-5899

彦根城は、関ヶ原の戦いの後、大坂城の豊臣方との戦いに備えて築城が開始されました。最初は戦いのことを中心に考えてつくられたので城主の御殿は、安全な天守前に建てられました。しかし、大坂城での戦い(大坂の陣)が徳川方の勝利で終了すると、お城の役割は、戦いに備えるよりも平和がずっと続くように政治をすることが中心になりました。そのため、家臣が集まって話し合うための大きな御殿が必要になり、山の麓に新しく表御殿(現在、彦根城博物館)がつけられることになりました。

